

科 目		ブレインジム I (前期)				
担当教員	原田 明美	学年	1	履修期間	前期	
学科	社会生活学科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
目的	①心身のセルフチェックができるようになること ②手と目の連動 ③ボディイメージと体幹バランスがとれる ④リラックスできる方法を学ぶ					
2. 講義計画						
第 1 週	オリエンテーション・自己紹介カード作成					
第 2 週	心身のセルフチェック・シンキングキャップ、エナジーヨーヨー					
第 3 週	体の伸び、上・横・前屈 ボールコミュニケーション					
第 4 週	スパゲティゲーム・マットを使った前屈・後屈					
第 5 週	PACE・シンキングキャップ・カーフポンプ					
第 6 週	スパゲティゲーム、マットで伸び、バランスチェック					
第 7 週	∞字バランス (左右のバランス調節) バランスボール					
第 8 週	∞字バランス・ペア風船					
第 9 週	ウォーキング・転がしドッジボール					
第 10 週	心身のセルフチェック (正中線を意識する)					
第 11 週	PACE・屈伸・お手玉・パファーボール					
第 12 週	PACE・ネックロール・カーフポンプ					
第 13 週	腕回し、首回し・マットで体幹トレーニング・足首リラックス					
第 14 週	PACE・お手玉・ボールをカゴに入れる					
第 15 週	ウォーキング・転がしドッジボール					
第 16 週	ビーチボールアタックを全力でやる・体幹トレーニング					
第 17 週	前期振り返りシート of 記入・PACE・ビーチバレー対戦					
第 18 週	体と脳を目覚めさせる・腕回し首回し					
3. 関連科目および注意点						
コミュニケーションの授業と関連。教室は基本講堂を使用 PACEは心身のセルフチェックに必要な準備						
4. 成績評価の方法						
ペーパー試験は実施せず。振り返りシート (レポート) で評価						
5. 教科書および参考書など						
教科書	: なし					
参考書	: なし					
6. 注意事項						

科 目		ブレインジムⅡ（後期）				
担当教員	原田 明美	学年	1	履修期間	後期	
学科	社会生活学科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
	目的	①全身を協調させる運動 ②体のリラックス・協調 ③バランス感覚 ④チームワーク				
2. 講義計画						
第 1 週	PACE・シンキングキャップ・風船ラリー					
第 2 週	PACE・バドミントンのラケットで風船・シャトル5コの連続打ち					
第 3 週	ブレインボタン・バランスボタン・ボールエクササイズ					
第 4 週	ボールエクササイズ・ボディイメージ（二人ペア）					
第 5 週	PACE+バランスボタン・バスケットでドリブル・シュート					
第 6 週	PACE+バランスボタン・8の字運動・小さなボールを投げる					
第 7 週	PACE・ビーチボールを使って三人でエクササイズ					
第 8 週	PACE・マットを使った曲げ伸ばし、股関節の運動					
第 9 週	マットを使ったエクササイズ・エナジャイザー・ブレインボタン					
第 10 週	心身のセルフチェック・PACE・バドミントンのラリー					
第 11 週	体のリラックス・協調・コミュニケーション、バドミントン					
第 12 週	心身のセルフチェック・ラケットにボールをのせてバランス取り					
第 13 週	ネットを張って風船バレーとPACE					
第 14 週	心身のセルフチェック・PACE					
第 15 週	全身を強調させる運動・ビーチボールを使ったエクササイズ					
第 16 週	目、手、体の協調をはかる体幹トレーニング					
第 17 週	転がしドッジボール対戦・後期振り返りシート記入					
第 18 週	心身のセルフチェック・ブレインジムエクササイズ総合					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
振り返りシート（レポート）で評価する						
5. 教科書および参考書など						
	教科書	：なし				
	参考書	：なし				
6. 注意事項						

科 目		コミュニケーション I (前期)				
担当教員	鈴木 就策	学年	1	履修期間	前期	
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
目的	①自分のことを知り、相手にそれが伝えられること ②相手の話すことを理解し、基本的な対応ができること ③協調性を学ぶこと					
2. 講義計画						
第 1 週	授業開き・自己紹介					
第 2 週	マインドマップ					
第 3 週	電話がけ①					
第 4 週	電話がけ② (メモ取りと対応)					
第 5 週	電話がけ③ (状況に応じての対応の仕方)					
第 6 週	説明する力①絵を見て説明をする					
第 7 週	説明する力②絵の地図を用いて道案内					
第 8 週	Yes/Noゲーム					
第 9 週	TPO (冠婚葬祭における挨拶、対応)					
第 10 週	電話の取り方 (これまでの復習)					
第 11 週	ペーパータワー					
第 12 週	グループディスカッション①種類と基本演習					
第 13 週	グループディスカッション②自由討論型					
第 14 週	ワールドカフェ①					
第 15 週	マシュマロチャレンジ					
第 16 週	言語コミュニケーション					
第 17 週	非言語コミュニケーション					
第 18 週	質疑応答ゲーム					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
	試験 (実技試験) と平常点で評価					
5. 教科書および参考書など						
教科書	: なし					
参考書	: なし					
6. 注意事項						

科 目		コミュニケーションⅡ（後期）				
担当教員	鈴木 就策	学年	1	履修期間	後期	
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
目的	①自分の考えを表現できること ②相手の言うことを理解できること ③会話を円滑に行えるスキルを身につけること					
2. 講義計画						
第 1 週	会話を始めるスキル					
第 2 週	会話を続けるスキル					
第 3 週	会話を終わらせるスキル					
第 4 週	グループディスカッション（選択型討論）					
第 5 週	ワールドカフェ②					
第 6 週	ディベート①（基本的なやり方）					
第 7 週	ディベート②（実践）					
第 8 週	ワールドカフェ③					
第 9 週	グループディスカッション（課題解決型）					
第 10 週	聞く姿勢とメモ取り					
第 11 週	グループディスカッション（応用）					
第 12 週	他己紹介、相手をほめる技術					
第 13 週	挨拶（表情や手振りなどのスキルを加える）					
第 14 週	ディベート③					
第 15 週	表情伝言ゲーム					
第 16 週	言葉の演出					
第 17 週	言語・非言語コミュニケーションまとめ					
第 18 週	面接練習					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
	実技試験と平常点で評価					
5. 教科書および参考書など						
教科書	：なし					
参考書	：なし					
6. 注意事項						

科 目		基礎国語 I (前期)				
担当教員	鈴木 就策	学年	1	履修期間	前期	
学科	社会生活学科					
	種別	講義	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
	目的	①これまで学んだ語句表現の復習 ②コミュニケーションにかかわる敬語の使い方の習得 ③漢検などの資格試験に生かせる知識を身につける				
2. 講義計画						
第 1 週	授業開き・敬語の種類					
第 2 週	敬語①【尊敬語と謙譲語】					
第 3 週	敬語②【謙譲語と丁寧語】					
第 4 週	敬語の使い分け					
第 5 週	敬語③【プリント総合演習】					
第 6 週	ことわざの学習①					
第 7 週	ことわざの学習②					
第 8 週	四字熟語【演習プリント】					
第 9 週	四字熟語【クイズ形式のプリント】					
第 10 週	四字熟語【演習プリント後半】					
第 11 週	慣用句【よく使われる慣用句】					
第 12 週	慣用句【特に重要な慣用句】					
第 13 週	慣用句【復習と演習】					
第 14 週	基本構文力①					
第 15 週	基本構文力②					
第 16 週	熟語の構成①					
第 17 週	熟語の構成②					
第 18 週	類義語・対義語・多義語					
3. 関連科目および注意点						
	コミュニケーションにおける敬語や表現方法					
4. 成績評価の方法						
	筆記試験および平常点で評価する					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	：なし				
	参考書	：なし				
6. 注意事項						

科 目		基礎国語Ⅱ（後期）				
担当教員	鈴木 就策	学年	1	履修期間	後期	
学科	社会生活学科					
	種別	講義	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
目的	①前期の学習事項の復習 ②漢検などで使える応用的な表現の習得 ③文章の構成を知り、基本的な文章がかけること					
2. 講義計画						
第 1 週	類義語・対義語・多義語②					
第 2 週	類義語・対義語・多義語③					
第 3 週	敬語演習復習プリント①					
第 4 週	敬語演習復習プリント②					
第 5 週	漢検対策					
第 6 週	敬語まとめ					
第 7 週	文章の構成①					
第 8 週	文章の構成②					
第 9 週	文章の要約					
第 10 週	文章の要約と短い作文					
第 11 週	慣用句と四字熟語（応用①）					
第 12 週	慣用句と四字熟語（応用②）					
第 13 週	漢検対策①					
第 14 週	漢検対策②					
第 15 週	間違いやすい日本語表現①					
第 16 週	間違いやすい日本語表現②					
第 17 週	語句問題の応用演習①					
第 18 週	語句問題の応用演習②					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
試験（筆記試験）と平常点で総合的に評価						
5. 教科書および参考書など						
教科書	：なし					
参考書	：なし					
6. 注意事項						

科 目		社会生活実習 I (前期)				
担当教員	鈴木 就策	学年	1	履修期間	前期	
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要						
	目的 他の領域・教科での学びを総合的に取り入れ、社会で体験するであろう活動や、そのために必要なスキルを身に付ける					
2. 講義計画						
	第 1 週 授業開き 第 2 週 礼儀の種類・音の気遣い 第 3 週 調理実習準備 (メニューの決定) 第 4 週 調理実習準備 (役割の分担と手順) 第 5 週 調理実習準備 (価格リサーチ①) 第 6 週 調理実習準備 (価格リサーチ②) 第 7 週 調理実習 (ランチを予算内で作る) 第 8 週 調理実習反省・手紙の書き方 第 9 週 手紙の書き方 第 10 週 インターンシップの事前訪問 第 11 週 手紙の書き方①時候の挨拶や決まり事 第 12 週 手紙の書き方②やや堅苦しい内容のもの 第 13 週 インターンシップ先への事前の挨拶、注意点など連絡 第 14 週 インターンシップ 第 15 週 インターンシップ 第 16 週 インターンシップ先へのお礼状作成 第 17 週 領収書や伝票の書き方 (基本的なもの) 第 18 週 新聞を読み方・必要な情報を整理する					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
	試験は実施せず、グループ内での取り組む姿勢などから評価					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	: なし				
	参考書	: なし				
6. 注意事項						

科 目		社会生活実習Ⅱ（後期）				
担当教員	鈴木 就策	学年	1	履修期間	後期	
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要						
	目的 他の領域、教科で学んだことを総合的に生かして、社会に出て必要になるであろうスキルを身につけること					
2. 講義計画						
第 1 週	裁縫の基本①（ボタン付けなど）					
第 2 週	木工①（釘の打ち方・抜き方など基本的な作業）					
第 3 週	伝票から記帳をする					
第 4 週	オリエンテーリング（中島公園）					
第 5 週	調理実習準備					
第 6 週	調理実習準備					
第 7 週	インターンシップ					
第 8 週	インターンシップ					
第 9 週	調理実習					
第 10 週	調理実習反省					
第 11 週	防災について学ぶ					
第 12 週	防災センター					
第 13 週	裁縫 ②					
第 14 週	木工 ②					
第 15 週	クリスマスカード作成					
第 16 週	年賀状作成					
第 17 週	DVD鑑賞					
第 18 週	札幌雪祭り					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
試験は実施せずに取り組む姿勢や協調性などを見て評価						
5. 教科書および参考書など						
	教科書	：なし				
	参考書	：なし				
6. 注意事項						

科 目		基礎教養 I (前期)				
担当教員	鈴木 就策	学年	1	履修期間	前期	
学科	社会生活学科					
	種別	講義	単位時間	68	単位時間	
1. 概要						
	目的	①生活をしていく中で、知っているのと役に立つ知識を身につけること ②普段何気なく見ることに對して、好奇心を持ってもらうこと				
2. 講義計画						
第 1 週	生物の誕生と生物と非生物の違い					
第 2 週	計算の工夫 (割り算・掛け算)					
第 3 週	実用的なロープの結び方					
第 4 週	使える英会話①・ロープの結び方復習					
第 5 週	地図の見方と地下鉄の路線図					
第 6 週	使える英会話②/消費税の計算					
第 7 週	英文の決まり事/歴史的仮名遣い					
第 8 週	使える英会話③/消費税と割引計算、利率計算					
第 9 週	英語で色々な状況で話す/人の免疫の話					
第 10 週	ファミレスやマクドナルドで注文しよう (英語)					
第 11 週	生物の進化と遺伝について (議論型)					
第 12 週	食品の表示と添加物の体への影響 (アレルギーなど)					
第 13 週	英語で手紙を書く①					
第 14 週	英語で手紙を書く②/風呂敷の包み方					
第 15 週	身近なものをつかった化学/物理の実験					
第 16 週	定期テストの準備					
第 17 週	定期テスト					
第 18 週	風呂敷の使い方/ロープの結び方					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
	試験 (筆記試験) および平常点で評価					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	: なし				
	参考書	: なし				
6. 注意事項						

科 目		基礎教養Ⅱ（後期）				
担当教員	鈴木 就策	学年	1	履修期間	後期	
学科	社会生活学科					
	種別	講義	単位時間	68	単位時間	
1. 概要						
	目的	これから社会人になる際に、必要となる知識を得ることで、さらに好奇心を持ち、いろいろなことを学ぼうという意欲につなげること				
2. 講義計画						
第 1 週	古典にふれる／枕草子などの古典の朗読と鑑賞					
第 2 週	お金の流れを知る（基本的な経済の話）					
第 3 週	選挙と政治の話（なぜ選挙に行くのか）					
第 4 週	基本的なシチュエーションでの基本英会話①					
第 5 週	基本的な簿記計算の話					
第 6 週	記帳してみよう（伝票会計の基本）					
第 7 週	基本的なシチュエーションでの基本英会話②					
第 8 週	昔の名作に触れる／有名な作品の朗読					
第 9 週	消費税、利率計算などの復習					
第 10 週	英語で手紙を書く練習					
第 11 週	簡単な財務諸表を作ってみよう（空所に数値をいれて完成）					
第 12 週	平成に起こったことを知ろう（現代史）					
第 13 週	昭和の歴史を知ろう（現代史）					
第 14 週	英語でロールプレイング					
第 15 週	古典的な有名な小説を読む／朗読と鑑賞					
第 16 週	地図の知識と地図の読み方					
第 17 週	シナリオを相談して決めて英語の劇をする					
第 18 週	期末テスト／授業の感想等					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
	試験（筆記試験）と平常点との評価					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	：なし				
	参考書	：なし				
6. 注意事項						

科 目		芸術表現実習 I (前期)				
担当教員	杉崎 英利	学年	1	履修期間	前期	
学科	社会生活学科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
目的	①集中力の持続とあきらめない努力を身につける ②発想力と独創性を養う ③グラディエーション、調色を知る					
2. 講義計画						
第 1 週	イメージ画の基礎					
第 2 週	チョーク画の基本・「虹」を描く					
第 3 週	色の意味・春のイメージ画「桜」					
第 4 週	造形芸術「心の形」紙粘土で作る立体表現					
第 5 週	100枚マラソン絵画 (30分以内に絵画を100作品描く)					
第 6 週	補色残像の不思議絵					
第 7 週	エコアート「ペーパービーズアクセサリ」 (古紙の利用)					
第 8 週	コロリアージュ (精密ぬり絵・大人のぬり絵)					
第 9 週	木工芸…車を作る (端切れ材料で未来の車を作る)					
第 10 週	CDジャケット製作 (デザイン・創造力)					
第 11 週	木工芸「船を作る」					
第 12 週	点描画によるイメージ画					
第 13 週	空き缶アート					
第 14 週	絵手紙・夏のイメージ画 (暑中見舞い)					
第 15 週	手作りスライム (手触りの触感を学ぶ)					
第 16 週	コラージュとは					
第 17 週	コラージュ (チラシ、雑誌等を切り貼りする)					
第 18 週	作品振り返り感想文を提出					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
	過去の作品画像を見て自己評価をする作品振り返り感想文を提出					
5. 教科書および参考書など						
教科書	: なし					
参考書	: なし					
6. 注意事項						

科目		芸術表現実習Ⅱ（後期）				
担当教員	杉崎 英利	学年	1	履修期間	後期	
学科	社会生活学科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
	目的	①発想力と自己投影 ②集中力と持続性 ③インスピレーション ④指先の運動で脳を活性化させる				
2. 講義計画						
第1週	スクラッチアート					
第2週	ウッドアクセサリー					
第3週	紅葉狩り（外出あり）					
第4週	宇宙人を描く					
第5週	ハサミで切り絵「雪に結晶」に挑戦					
第6週	滲み絵（チョークを粉にして水に溶く）					
第7週	紙飛行機					
第8週	クリスマスカード					
第9週	デコパージュ					
第10週	絵本セラピー					
第11週	ちぎり絵					
第12週	マークのデザイン					
第13週	冬のイメージ画①					
第14週	冬のイメージ画②					
第15週	手作り絵本製作①					
第16週	手作り絵本製作②					
第17週	手作り絵本製作③					
第18週	後期試験（まとめ）					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
過去の作品画像を見て自己評価をする作品振り返り感想文を提出						
5. 教科書および参考書など						
	教科書	：なし				
	参考書	：なし				
6. 注意事項						

科 目		検定対策Ⅰ（前期）				
担当教員	鈴木 就策	学年	1	履修期間	前期	
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要						
	目的	漢検をはじめとして資格試験のための準備を行い、自分が目標とする資格を取得できること				
2. 講義計画						
第 1 週	漢字検定 5 級第 1 回～第 6 回/漢字検定 2 級ステップ 1～6 まで					
第 2 週	漢字検定 5 級第 7 回～第 12 回/漢字検定 2 級ステップ 7～12 まで					
第 3 週	漢字検定 5 級最後まで/漢字検定 2 級ステップ 13～18 まで					
第 4 週	間違い箇所の復習と確認（各級ごとに）					
第 5 週	漢字検定 4 級第 1 回～第 5 回/漢字検定 2 級ステップ 19～24 まで					
第 6 週	漢字検定 4 級第 6 回～第 10 回/漢字検定 2 級ステップ 25～31 まで					
第 7 週	漢字検定 4 級第 11 回～第 16 回/漢字検定 2 級ステップ 32～39 まで					
第 8 週	漢字検定 4 級再度やり直し/漢字検定 2 級やり直し					
第 9 週	漢字検定 4 級やり直し、検定第 3 級、準 2 級/漢字検定 2 級ステップ 1 から					
第 10 週	漢字検定 4 級～5 / 3 級 1～4 / 準 2 級 1～4 / 2 級漢字学習～4					
第 11 週	漢字検定 4 級～7 / 3 級 5～8 / 準 2 級 5～8 / 2 級漢字学習～8					
第 12 週	漢字検定 4 級～9 / 3 級 9～12 / 準 2 級 9～12 / 2 級漢字学習～12					
第 13 週	間違い箇所の復習と確認（各級ごとに）					
第 14 週	漢字検定 4 級～12 / 3 級 13～15 / 準 2 級 13～15 / 2 級漢字学習～15					
第 15 週	漢字検定 4 級～15 / 3 級 16～18 / 準 2 級 16～18 / 2 級漢字学習～18					
第 16 週	漢字検定 4 級 16、過去問 / 3 級 19～21 / 準 2 級 19～21 / 2 級漢字学習～21					
第 17 週	漢字検定 4 級 17～ / 3 級 22～ / 準 2 級 22～ / 2 級漢字学習～24					
第 18 週	ここまでの内容の間違い箇所のやり直し					
3. 関連科目および注意点						
	年三回の漢字検定の合格を目指す					
4. 成績評価の方法						
	試験は実施しない・授業に取り組む姿勢や達成度で評価					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	：漢字学習ステップアップ 5 級～2 級/本試験型漢字検定				
	参考書	：なし				
6. 注意事項						

科 目		検定対策Ⅱ（後期）				
担当教員	鈴木 就策	学年	1	履修期間	後期	
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要						
	目的	漢字検定をはじめ検定の合格のための準備演習				
2. 講義計画						
第 1 週	漢字検定 4 級～18 / 3 級24～27/準2級24～27/2級漢字学習～30					
第 2 週	4 級はやり直し/3 級、準2級は27までやり直し/2 級は漢字学習～35					
第 3 週	各級とも過去問の演習で実践的な確認					
第 4 週	過去問演習で弱点の把握と強化					
第 5 週	3 級は 1～5 と 28 から 32 まで/準 2 級～32/ 2 級は 39 まで					
第 6 週	3 級は 6～10 と 39 まで/準 2 級～39/ 2 級は 42 まで					
第 7 週	これまでの復習と間違い箇所の確認（各級で）					
第 8 週	各級ともテキストを最後まで終了					
第 9 週	4 級、3 級、準 2 級、2 級のこれまでのテキストのやり直し					
第 10 週	4 級、3 級、準 2 級、2 級のこれまでのテキストのやり直し					
第 11 週	間違いの多い出題パターンに特化した演習					
第 12 週	過去問演習①					
第 13 週	過去問演習②					
第 14 週	項目別にテキストをやり直す①					
第 15 週	項目別にテキストをやり直す②					
第 16 週	項目別にテキストをやり直す③					
第 17 週	過去問演習③					
第 18 週	これまでの反省と今後の達成目標の確認					
3. 関連科目および注意点						
	11月と1月の漢字検定を目指す					
4. 成績評価の方法						
	試験は実施せず、授業の取り組み方や達成度などで総合評価					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	：漢字学習ステップ、漢検漢字学習ステップ（各級）				
	参考書	：なし				
6. 注意事項						

科 目		職務実践 I				
担当教員	横田 潤一	学年	1	履修期間	前期	
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要						
	<p>目的</p> <p>細かな作業に慣れ、その中でスピードなども意識できるようになること</p>					
2. 講義計画						
第 1 週	折り紙を使った相互差込作業					
第 2 週	点を結ぶ組み合わせの確認作業【三種類】					
第 3 週	短冊の組み合わせによる幾何学模様の製作					
第 4 週	点枠を利用した三角作りと色塗り					
第 5 週	幾何学模様の模写と色塗り					
第 6 週	組み紙作成【レベル 1】					
第 7 週	組み紙作成【レベル 2】（三枚の三角形の組み込み）					
第 8 週	組み紙作成【レベル 3】（斜め繰り返し）					
第 9 週	ボルト・ナット・座金、割り箸＋袋、おはじき＋袋の作業実習					
第 10 週	学校の花壇の清掃					
第 11 週	毛糸を利用した指編み①、三つの作業実習					
第 12 週	毛糸を利用した指編み②（完成品）					
第 13 週	毛糸を利用した指編み（II-①）					
第 14 週	毛糸を利用した指編み（II-②）					
第 15 週	三種類の作業実習					
第 16 週	平面図からの立体的な楔形製作①					
第 17 週	平面図からの立体的な楔形製作②					
第 18 週	これまでの作品の自己評価と反省					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
	平常点および実技試験により評価					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	：なし				
	参考書	：なし				
6. 注意事項						

科 目		職務実践Ⅱ（後期）				
担当教員	横田 潤一	学年	1	履修期間	後期	
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要						
	目的	細やかな作業や共同作業を実践し、その過程において報告や安全の確認、スピードなどを意識することができるようにすること				
2. 講義計画						
	第 1 週	ビーズ梱包作業				
	第 2 週	ブレスレッド作り				
	第 3 週	住所仕分け作業				
	第 4 週	ミサンガ作り				
	第 5 週	ペーパークラフト				
	第 6 週	ピッキング①				
	第 7 週	羊毛ゴミ取り				
	第 8 週	アイロンビーズ作成				
	第 9 週	宛名書き				
	第 10 週	スタンプ押し				
	第 11 週	押印				
	第 12 週	パソコンデータ入力①				
	第 13 週	ペン字の練習				
	第 14 週	給与計算				
	第 15 週	ピッキング②				
	第 16 週	パソコンデータ入力②				
	第 17 週	総合的な実習作業				
	第 18 週	反省と自己評価				
3. 関連科目および注意点						
	インターンシップ等					
4. 成績評価の方法						
	平常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	：なし				
	参考書	：なし				
6. 注意事項						

科 目		音楽表現 I (前期)				
担当教員	鈴木 日出代	学年	1	履修期間	前期	
学科	社会生活学科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
	目的	①発声法を学ぶ ②テーマに沿った曲を唄い、聞くこと				
2. 講義計画						
第 1 週	パタカラと早口言葉・身のまわり音クイズ・唄う (10曲)					
第 2 週	歌詞の中からの問題・唄う (11曲)					
第 3 週	パタカラと魚の名前・身のまわり音クイズ・唄う (9曲)					
第 4 週	パラカラ・魚・調味料の名前をあげる・唄う (9曲)					
第 5 週	唄う (10曲) 聴く (1曲)					
第 6 週	パタカラ・Scatman・唄う (8曲)					
第 7 週	パタカラ・唄う・曲名に数字の入る歌の〇〇をうめる					
第 8 週	パタカラ・早口言葉とメロディ・ウェディングソング特集					
第 9 週	音域を変えてパタカラ (F~Bb) ・トルコ行進曲・唄う (9曲)					
第 10 週	音域を変えてパタカラ (C~G) ・唄う (10曲) 聴く (4曲)					
第 11 週	音域を変えてパタカラ (C,G,A) ・じゅげむ・唄う (11曲) 聴く					
第 12 週	音域を変えてパタカラ (C,D,E,F移調) リズム打ちを入れて唄う					
第 13 週	音域を変えてパタカラ、スタッカート・中高生時代の合唱曲					
第 14 週	音域を変えて発声・中高生時代の合唱曲					
第 15 週	パタカラ・北の国から、夏のイメージの曲を唄う					
第 16 週	パタカラ・北の国から、夏の情景が浮かぶ曲を唄う					
第 17 週	パタカラ・北の国からを音域を変えて唄う【復習】					
第 18 週	パタカラ・北の国から、これまでの曲で好きな曲を唄う					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
試験は行わず、平常点で評価する						
5. 教科書および参考書など						
	教科書	: なし				
	参考書	: なし				
6. 注意事項						

科 目		音楽表現Ⅱ（後期）				
担当教員	鈴木 日出代	学年	1	履修期間	後期	
学科	社会生活学科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
目的	①季節のイメージに合う曲を唄う ②模唱 ③2/4の基礎リズムを学ぶ					
2. 講義計画						
第1週	パタカラ、北の国から・合唱でよく歌われる曲					
第2週	北の国から・パタカラ・きらきら星・唄う・模唱・季節テーマ曲					
第3週	パタカラ、北の国から・秋の情景歌・秋の行事歌					
第4週	パタカラ、北の国から・秋のイメージ曲・同時唱					
第5週	パタカラ、北の国から・ワインに合う曲・シャンソン					
第6週	パタカラ・北の国から・イエヴァンポルカ、模唱					
第7週	パタカラ・北の国から・イエヴァンポルカ、2/4の基礎リズム					
第8週	パタカラ・北の国から・イエヴァンポルカ 2/4の基礎リズム					
第9週	パタカラ・北の国から・イエヴァンポルカ、模唱とJ-Pop					
第10週	パタカラ・北の国から・イエヴァンポルカ、2/4の基礎リズム					
第11週	パタカラ・北の国から・イエヴァンポルカ、冬景色の歌を唄う					
第12週	パタカラ・北の国から・イエヴァンポルカ、冬景色の歌の意味					
第13週	パタカラ・北の国から、唄う					
第14週	冬景色、冬の夜の一番の歌詞を覚えて唄うテスト					
第15週	パタカラ・北の国から・イエヴァンポルカ、唄う					
第16週	パタカラ・北の国から・イエヴァンポルカ、唄う					
第17週	パタカラ・北の国から・イエヴァンポルカ、模唱、2/4基礎リズム					
第18週	パタカラ・北の国から、これまでの歌で好きな歌を選んで唄う					
3. 関連科目および注意点						
パタカラは口の周りの筋肉や舌の動きをスムーズにするための準備運動						
4. 成績評価の方法						
試験は実施せず、平常点で評価						
5. 教科書および参考書など						
教科書	：なし					
参考書	：なし					
6. 注意事項						

科 目	人間生活論 I (前期)					
担当教員	石川美雪	学年	1年	履修期間	前期	
学科	社会生活学科					
	種別	講義	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立した生活の確立 ・ 自信を持って自分らしく生きる。 ・ 社会参加の意義や方法を学ぶ 				
2. 講義計画						
	第 1 週	健康管理①				
	第 2 週	健康管理②				
	第 3 週	食生活①				
	第 4 週	食生活②				
	第 5 週	セルフケア①				
	第 6 週	セルフケア②				
	第 7 週	時間管理①				
	第 8 週	時間管理②				
	第 9 週	安全・危機管理①				
	第 10 週	安全・危機管理②				
	第 11 週	防災①				
	第 12 週	防災②				
	第 13 週	金銭管理①				
	第 14 週	金銭管理②				
	第 15 週	掃除・整理①				
	第 16 週	掃除・整理②				
3. 関連科目及び注意点						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の日常を把握し、日々の生活と密着させる。 ・ 常に「自立」を意識させる。 ・ 自己選択や自己決定を重視する。 ・ グループ学習をベースとし意見交換や経験の分かち合いにつなぐ。 					
4. 成績評価の方法						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点・定期試験による評価 					
5. 教科書及び参考書など						
	教科書	・ 社会性活カプログラム・マニュアル				
	参考書	:				
6. 注意事項						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来を見据えた生活観を考える時間とする。 					

科目	人間生活論Ⅱ（後期）					
担当教員	石川美雪	学年	1年	履修期間	後期	
学科	社会生活学科					
	種別	講義	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立した生活の確立 ・ 自信を持って自分らしく生きる。 ・ 社会参加の意義や方法を学ぶ 				
2. 講義計画						
	第 1 週	働く①				
	第 2 週	働く②				
	第 3 週	コミュニケーションと人間関係①				
	第 4 週	コミュニケーションと人間関係②				
	第 5 週	余暇①				
	第 6 週	余暇②				
	第 7 週	外出①				
	第 8 週	外出②				
	第 9 週	社会参加①				
	第 10 週	社会参加②				
	第 11 週	男女交際と性①				
	第 12 週	男女交際と性②				
	第 13 週	結婚①				
	第 14 週	結婚②				
	第 15 週	育児①				
	第 16 週	育児②				
3. 関連科目及び注意点						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の日常を把握し、日々の生活と密着させる。 ・ 常に「自立」を意識させる。 ・ 自己選択や自己決定を重視する。 ・ グループ学習をベースとし意見交換や経験の分かち合いにつなぐ。 					
4. 成績評価の方法						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点・定期試験による評価 					
5. 教科書及び参考書など						
	教科書	・ 社会性活カプログラム・マニュアル				
	参考書	:				
6. 注意事項						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来を見据えた生活観を考える時間とする。 					

科目	パソコン基礎実習Ⅰ（前期）					
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	前期	
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要						
目的	Windowsの基本操作（エクスプローラー、設定、ショートカットキーなど）から、Wordで簡単なビジネス文書およびPOPが出来るまでの技術を学ぶ。 また、後期に向けてExcelの概要も学ぶ。					
2. 講義計画						
第 1 週	Windows10の基本操作1					
第 2 週	Windows10の基本操作2					
第 3 週	Word基礎1	画面、日本語入力、操作方法				
第 4 週	Word基礎2	ショートカットキー マウスポインタ				
第 5 週	Word基礎3	書式の設定（センタリング等）				
第 6 週	Word基礎4	均等割り付け、表の挿入				
第 7 週	Word基礎5	テキストボックス・図形の挿入				
第 8 週	Word基礎6	画像の挿入、画像の加工				
第 9 週	Word基礎7	ビジネス文章作成				
第 10 週	Word基礎8	ビジネス文章作成				
第 11 週	Word基礎9	POPの作成				
第 12 週	Word基礎10	POPの作成				
第 13 週	Word基礎11	ワープロ検定3級模擬				
第 14 週	Word基礎12	ワープロ検定3級模擬				
第 15 週	Excel概要2	セル・ワークシート・ブック				
第 16 週	Excel概要2	数式の考え方				
第 17 週	前期定期試験 1					
第 18 週	前期定期試験 2					
3. 関連科目及び注意点						
ノートパソコンが必要						
4. 成績評価の方法						
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：プリントにて対応					
問題集	：					
6. 注意事項						
パソコンを使つての実習である。						

科 目	パソコン基礎実習Ⅱ（後期）					
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	後期	
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
1. 概要	<p>目的 Excelを仕事で活動できるまでの技術を学ぶ。マクロを除く、数式・関数を使用すること、相対参照・絶対参照がわかるように学習する。また、卒業研究発表の資料を作成するためPowerPointの基本的な機能も学ぶ。</p>					
2. 講義計画	<p>第 1 週 前期の復習 第 2 週 Excel基礎1 入力の方法、フィルハンドル 第 3 週 Excel基礎2 オートサムボタンの活用 第 4 週 Excel基礎3 絶対参照・相対参照 第 5 週 Excel基礎4 丸め(INT ROUND) 第 6 週 Excel基礎5 順位(RANK. EQ) 第 7 週 Excel基礎6 分岐(IF) 第 8 週 Excel基礎7 表検索(VLOOKUP) 第 9 週 Excel基礎8 論理関数(AND, OR) 第 10 週 Excel基礎9 表計算検定模擬 第 11 週 Excel基礎10 表計算検定模擬 第 12 週 PowerPoint1 操作基本 第 13 週 PowerPoint2 テキスト・画像 第 14 週 PowerPoint3 グラフ挿入 第 15 週 PowerPoint4 卒論資料作成 第 16 週 PowerPoint5 卒研資料作成 第 17 週 後期定期試験1 第 18 週 後期定期試験2</p>					
3. 関連科目及び注意点	<p>ノートパソコンが必要</p>					
4. 成績評価の方法	<p>課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価</p>					
5. 教科書及び参考書など	<p>教科書 : プリントにて対応 問題集 :</p>					
6. 注意事項	<p>パソコンを使つての実習である。</p>					

科 目	SST I (前期)					
担当教員	石川美雪	学年	1年	履修期間	前期	
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
1. 概要						
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が社会の中でどのように生きていくか ・自分が社会とどのようにつながるかを考える ・人間関係の構築とうまく生きるコツを身につける 					
2. 講義計画						
第 1 週	自己紹介					
第 2 週	自己紹介					
第 3 週	相手の話を聞く					
第 4 週	相手の話を聞く					
第 5 週	相手に質問してみよう					
第 6 週	相手に質問してみよう					
第 7 週	紹介してみよう					
第 8 週	紹介してみよう					
第 9 週	確認してみよう					
第 10 週	確認してみよう					
第 11 週	上手にお願いする方法					
第 12 週	上手にお願いする方法					
第 13 週	報告・連絡・相談するには					
第 14 週	報告・連絡・相談するには					
第 15 週	対人コミュニケーション					
第 16 週	対人コミュニケーション					
3. 関連科目及び注意点						
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション教育とソーシャルスキルやキャリア教育を中心にグループワークを実践し、ロールプレイや変化に富んだ実習を多く入れる。 						
4. 成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・平常点・定期試験による評価 						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	:みるみる会話力がつくノート					
6. 注意事項						
・授業導入としてエンカウンターをスキルの指導の般化・定着化課題として行う						

科 目	SST II (後期)					
担当教員	石川美雪	学年	1年	履修期間	後期	
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
1. 概要						
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が社会の中でどのように生きていくか ・自分が社会とどのようにつながるかを考える ・人間関係の構築とうまく生きるコツを身につける 					
2. 講義計画						
第 1 週	対人コミュニケーション①					
第 2 週	対人コミュニケーション②					
第 3 週	グループワーク①					
第 4 週	グループワーク②					
第 5 週	グループワーク③					
第 6 週	プレゼンテーション①					
第 7 週	プレゼンテーション②					
第 8 週	言葉をふやそう①					
第 9 週	言葉をふやそう②					
第 10 週	言葉をふやそう③					
第 11 週	将来を考えよう①					
第 12 週	将来を考えよう②					
第 13 週	あらたまった表現を知ろう①					
第 14 週	あらたまった表現を知ろう②					
第 15 週	ピラミッドストラクチャー①					
第 16 週	ピラミッドストラクチャー②					
3. 関連科目及び注意点						
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション教育とソーシャルスキルやキャリア教育を中心にグループワークを実践し、ロールプレイや変化に富んだ実習を多く入れる。 						
4. 成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・平常点・定期試験による評価 						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	:みるみる会話力がつくノート					
6. 注意事項						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業導入としてエンカウンターをスキルの指導の般化・定着化課題として行う 						